

# 新型コロナウイルス感染症の発生状況（富山県、第52週）

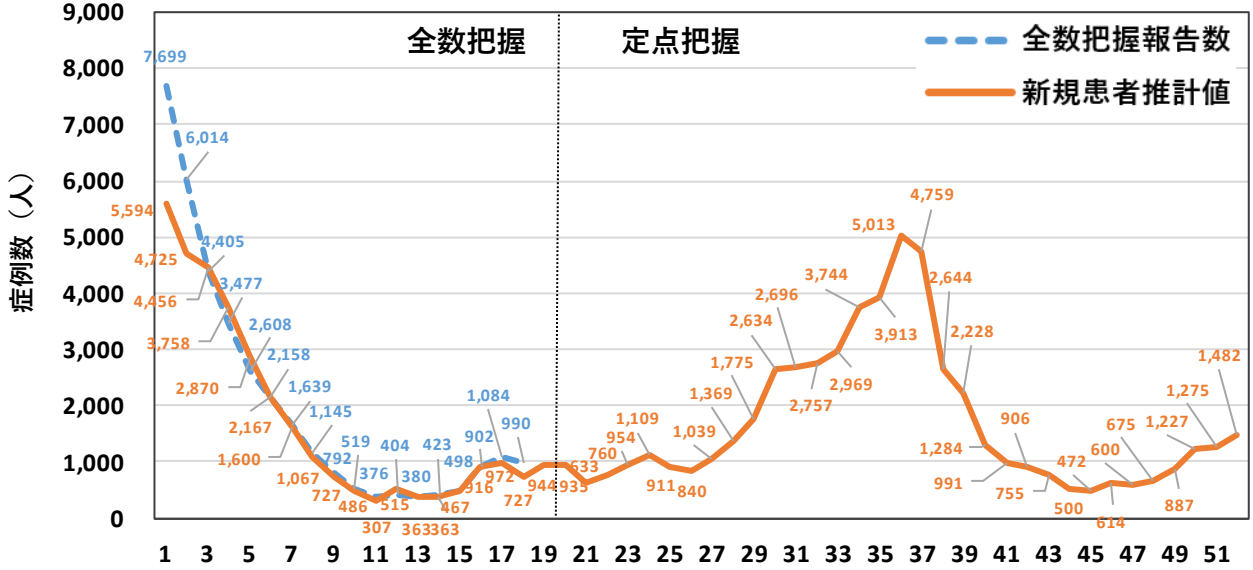
富山県厚生部健康対策室、衛生研究所

令和5年 第52週分 12月25日～12月31日（1月5日時点速報値）

定点医療機関新規報告数：314人、定点医療機関当たり6.54人、新規患者推計値※：1,482人。

※推計方法：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kurashi/kenkou/kenkou/1279/department/department1/covid-19.html>

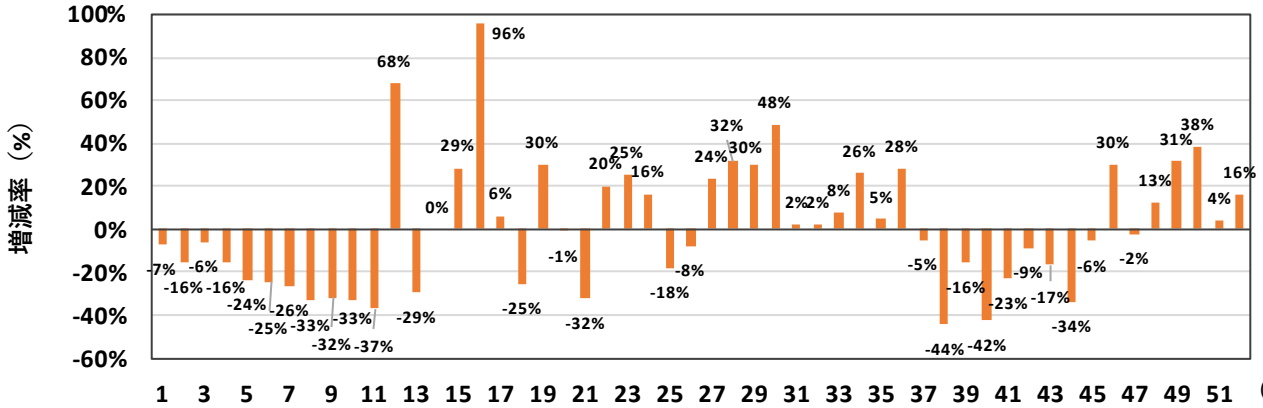
図1. COVID-19週別発生動向の推移（富山県）



(週)

図2. COVID-19患者増減率（対前週、富山県）

※新規患者推計値から算出



(週)

図3. 年齢階級別新規患者推計値（富山県、第52週）

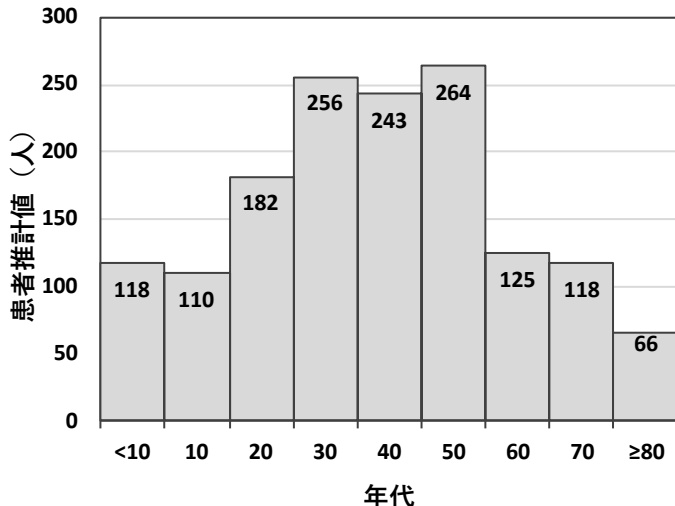


図4. 年齢階級別新規患者推計割合（富山県、第52週）

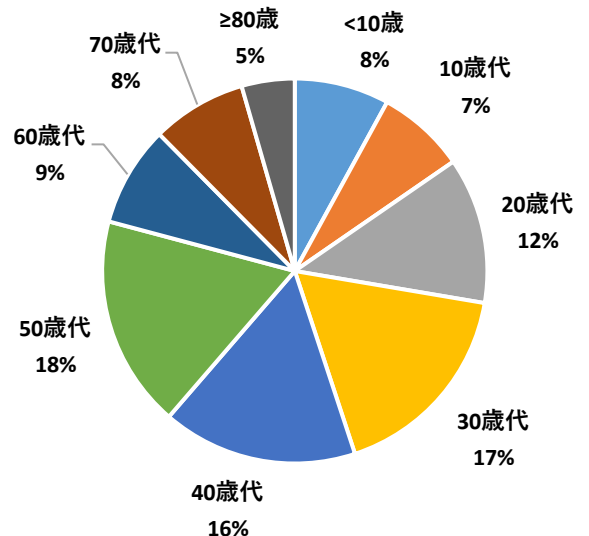


図5. 年齢階級別新規患者推計値の推移（富山県）

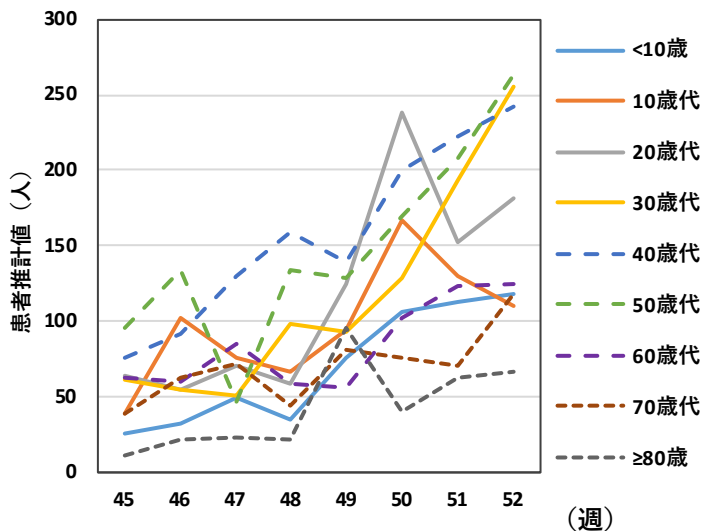


図6. 厚生センター・保健所管内別  
定点医療機関当たり報告数の推移

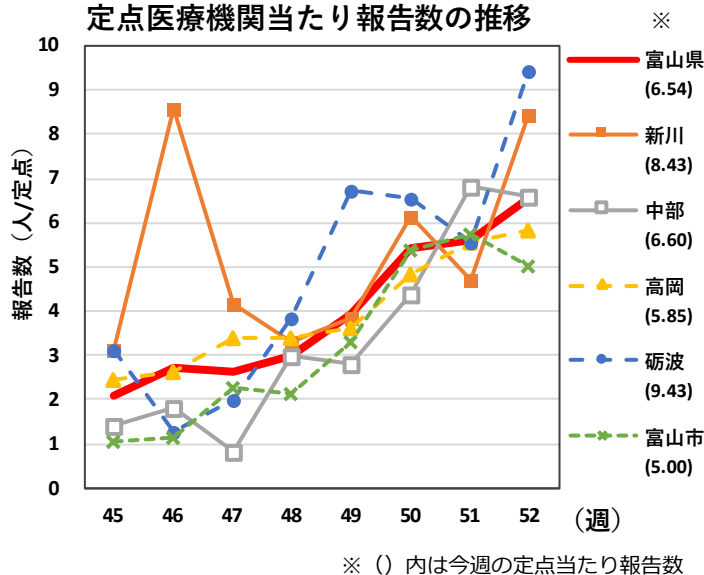


図7.COVID-19入院サーベイランス  
年代分布（第52週、33例）

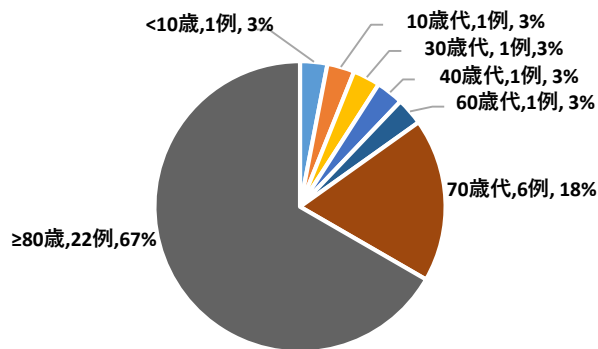
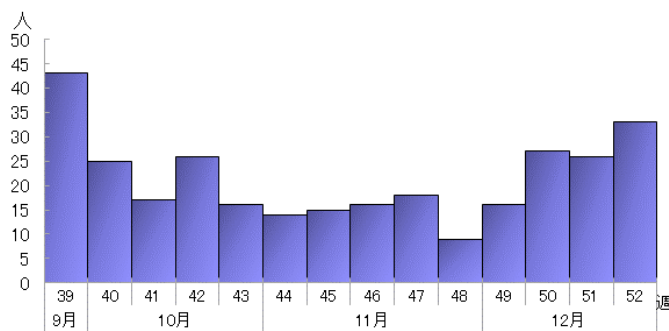


図8.COVID-19入院サーベイランス  
患者報告数の推移（富山県）



### 第52週（12/25～12/31）時点での所見と評価

- 第52週の定点医療機関当たり報告数は6.54人、新規患者推計値は1,482人であった。前週推計値（第51週、1,275人）から16%増加した。（図1、2）。なお、年末の定点医療機関の休診により、流行状況を過小評価している可能性がある。
- 第52週の年齢階級別新規患者推計値を図3、図4に示す。50歳代が最も多く18%を占め、次いで30歳代（17%）、40歳代（16%）、20歳代（12%）の順であった。60歳以上の割合は22%で先週（21%）とほぼ横ばいであった。
- 年齢階級別推計値の推移を図5に示す。20歳代から50歳代および70歳代で増加がみられ、その他の年齢は減少または横ばいであった。
- 厚生センター・保健所管内別定点医療機関当たり報告数の推移を図6に示す。富山県全域で6.54人/定点であり、先週（5.63）から増加した。新川と砺波管内で増加がみられ、その他の管内では減少または横ばいであった。
- 県内5か所の基幹定点医療機関を対象とするCOVID-19入院サーベイランスでは、第52週に33例の入院報告があり、先週（26例）から増加した。年代分布では、70歳代が6例、80歳以上が22例で、70歳以上が85%を占めた。（図7、8）。
- COVID-19の定点当たり報告数は、2023年45週以降、緩やかに、継続的に増加しており、今後の感染動向を注視する必要がある。